

非常時 (緊急避難・安否確認・災害応急活動)

災害時の行動

大規模災害の発生

自助

平常時 (日頃の備え)

- 普段から非常持ち出し品を常備しておく
- 避難場所・避難経路確認
- 家具の転倒防止対策
- 家族で避難場所を決めておく

身の安全・安全な避難

避難所へ

- 机の下に逃げたり、覆布団で頭を保護する
- 火災の場合には消火器で消火
- 高い建物への避難
- 避難口(ドア)開放・確保
- 避難口(ドア)開放・確保
- 情報を得る(ラジオ・携帯)
- 早期の避難
- 被害状況確認・点検

自助

共助

- 要援護者の避難支援の段取りを考える
- 避難訓練への参加
- 安全なお勧め避難路を地域で確認しておく
- 安否確認の方法を話し合い、決めておく

自助

共助

- 避難経路と避難先への支援
- 地域をハトロール
- 安全な指定避難所に行く
- 指定避難所開場
- 早期の避難
- けが人の手当・救護
- 安否確認と避難支援(送付遅れた人へ)
- 災害弱者を避難させる

5.防災・減災対策

専門家による防災講演会や住民のワークショップへの参加により、地域での防災・減災への取組みとして、発災前・発災時等と、自助(自分・家族での取組み)・共助(地域での連携の取組み)の取組みをワークショップにより、住民主体で検討し、発災前と発災後に、さらに自助と共助と公助・共助に区分して整理した。(文中、●はワークショップ時に、重要と考えられたもの。)

(1) 風水害対策

1) 風水害対策 (自助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
自 助	①避難・避難路対策	上層階に避難 避難場所の把握 避難路の確認 家族で災害時を話し合う 家族で避難場所を決めておく 安全な避難路を知っておく
	②連絡・情報対策	情報確認 近所・みんなに声掛け 連絡方法の確認 災害時の安心シートを作り掲示する 家族の勤務先の確認
	③防災用品・備蓄対策	水・食糧・非常食を準備 非常持ち出し準備 非常持ち出し品・貴重品をまとめる 水・インスタント食品 LEDライト・長靴・リュック・水筒準備 衣類・ヘルメット・ラジオの準備 タオル・靴下・手袋 軍手・帽子の準備 ナイロン製手袋 玄関にヘルメット準備 足元確保 小銭の準備 常備薬の準備 電池・ラジオ・ラップ・笛・靴等を準備
	④その他	周辺の点検・予知

2) 風水害対策 (共助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
共 助	①避難対策	普段より避難先を相談して決めておく 3階以上に垂直非難 ふだんから声掛け運動
	②連絡・情報対策	町内の安否確認 電話・声掛け 災害時に近所に声かけ 家族構成を話し合っておく コミュニケーションをとっておく
	③災害時要援護者対策	寝たきり者の避難支援 病人の居所を確認 地域名簿作成 要援護者名簿作成 高齢者の所在を把握する 介護する優先順位を考える
	④備蓄・資機材対策	町会に車いすを準備 町会にリヤカーを準備
	⑤防災訓練	避難訓練

3) 風水害対策 (自助)(発災後)

	発災後対策	対策の内容
自 助	①身の安全対策	身の安全を確保 避難に適した靴を履く 入り口のカギを開けておく心掛け
	②避難行動対策	拡声器で避難を呼びかける 家族と相談して決める 3階以上に避難誘導 避難経路の確認 避難所の確認 声掛け避難 公営住宅に避難 避難誘導 安全な道を早く見つける 避難路の安全確認し、避難路を決める 高齢者の避難を誘導する
	③安否・連絡・情報対策	家族と連絡を取る 家族の安否を連絡する 携帯ラジオ携行 テレビ・ラジオでの情報 災害情報を聞く 被害状況の把握
	④その他	ガス・電気を止める 食料品確保 ブレーカーを切る 普段の準備を確認

4) 風水害対策 (共助)(発災後)

	発災後対策	対策の内容
共	①避難誘導・支援対策	高層建物に避難 3階以上に垂直非難 近所に声掛け 安全の確認 隣近所に声掛け避難
	②災害時要援護者対策	要援護者の援助 一人暮らし世帯の安全確認
助	③安否連絡・情報対策	近所の安否確認 情報を早く入手する 安否確認 不在者の確認
	④けが人救助・支援対策	近所の人・けが人の手当て・救助 リヤカーを活用 救助方法を考える
	⑤防災体制	救急隊の組織充実 若い人を集め行動隊を結成 役割分担
	⑧その他	炊き出し・湯沸し 食事は暖かいものを

(2) 地震対策

1) 地震対策 (自助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
自 助	①避難・避難路対策	動線の確保 ●避難所の確認
	②連絡・情報対策	居住者との対話充実 普段から町会で話し合い
	③防災用品・備蓄対策	非常持ち出しをまとめておく 食料品の備蓄・確保 リュックに準備 ヘルメット用意 スリッパの常備 消火器準備 ライト・ラジオ準備 カナヅチ・ノコギリ準備 ●笛 毛布の準備 ●ラジオ・電池の用意 浴槽に水をためておく 靴下をはいて寝る 足元を確保 非常持ち出し品を常備 ヘルメット・懐中電灯
	④耐震・転倒防止対策	箆笥固定 家具の整頓・固定 高いところに物を置かない 身の回りに危険なものを置かない
	⑤その他	火の元確認 ベランダなどに物を置かない

2) 地震対策 (共助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
共 助	①避難対策	避難誘導を行う 玄関先の安全確認
	②連絡・情報対策	近所に声掛け ラジオを持ち寄る 近所の安否確認
	③災害時要援護者対策	名簿の作成 高齢者・子供の確認 独居老人に声かけ 障がい者の避難方法を話し合う
	④備蓄・資機材対策	食糧・衣料品確保係りを決めておく リヤカーを活用
	⑤防災訓練	町会での避難訓練
	⑥防災体制	リーダーを決めておく 行動隊の組織 近所の人と仲良く 町内で防災話し合い 食糧・衣料品確保係りを決めておく

3) 地震対策 (自助) (発災後)

	発災後対策	対策の内容
自 助	①身の安全対策	ドアを開放する 頭巾をかぶる テーブルの下へ
	②避難行動対策	避難経路の確認 水や食料を持ち出す 安全な場所に避難 早期避難 避難場所を決める 避難路の安全確認
	③安否・連絡・情報対策	連絡先を家に貼る 住民・近所に呼びかける テレビ・ラジオをつける 地震情報をみる 被害の大きさ情報 避難済は目印を 家族の安全を確認
	④防火・消火対策	ガスの元栓を閉める ブレーカを切る 電気・ガスを止める 火元の確認

4) 地震対策 (共助) (発災後)

	発災後対策	対策の内容
共 助	①避難誘導・支援対策	声掛け避難 逃げ遅れた人を支援する 避難所への道路確保
	②災害時要援護者対策	行動可能な人に支援依頼
	③連絡・情報対策	避難者の確認 ●安否確認、連絡先の掲示場所を作る
	④安否確認対策	近所に声掛け 安否確認済シールの貼付 安否確認の目印
	⑤救援・支援対策	救助隊の充実 救助班の結成 ●医療関係者の把握 リヤカーを活用
	⑥物資・資機材対策	水・食物の確保 女性トイレの確保 懐中電灯の確保 拡声器の利用 リヤカーの利用
	⑦防災体制	役割分担、リーダー等を決める